

令和7年度「はかた伝統工芸館」 指定管理者業務評価表

1 基本情報			
施設名	はかた伝統工芸館	指定管理者	ラブエフエム国際放送㈱
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日	所管課	経済観光文化局地域産業支援課
2 評価基準			
評価水準			評点
成果評価水準：際立つ成果が挙げられている			5
努力促進水準：取り組みや成果に優れている部分がある			4
基準達成水準：仕様項目、サービス水準が一応の目的を達成している			3
注意監視水準：不十分な部分があるが、是正、改善が見込まれる			2
是正勧告水準：取り組みが無い、未了、不達成であり問題がある			1
3 評価項目			
評価項目（各項目5点満点）		行政評価（地域産業支援課）	
		評点	コメント
Ⅰ 施設の運営管理に関する業務（配点20点）		14	・組織体制については、仕様書どおりの人員が配置されており、業務が遂行されていた。また、労働環境等についても、令和8年3月13日に労働条件モニタリングを実施した結果、大きな問題点は見受けられなかった。 ・任意の研修などにも積極的に参加し、館内で共有していることは、労働環境等の向上につながるものとして評価できる。
	1 組織体制	4	
	2 労働環境	4	
	3 保安警備、危機管理、安全確保	3	
	4 清掃及び施設付属設備の保守管理	3	
Ⅱ 伝統工芸品振興の業務（配点30点）		26	・常設展示ケースに配置されているYoutubelによる音声ガイドは、来館者に興味を持ってもらう仕掛けとして機能しており、一人当たりの滞在時間の延長にも寄与しているものと評価できる。周辺宿泊施設からの外国人観光客も多く来館していることから、外国語版音声ガイドの導入を進めるなど、更なるサービスの向上に取り組まれない。 ・企画展示内容ごとに随時ニュースリリースを行い、公式インスタグラムでは、年間100を超える投稿を行うなど、積極でな情報発信に取り組んでいる。一方で、博多部への移転後の現在地の認知が十分に浸透していないことが来館者減少の一因と考えられることから、SNSや報道機関、観光関連媒体等の多様な広報媒体を活用し、より効果的な周知・PRに取り組まれない。 ・「繭から糸ができるまでを学ぶ展」では、博多織に使われる絹糸ができるまでの行程を学ぶことができるほか、実際の蚕に触れられる機会を設ける等、他にはあまり見られない特色ある内容となっており、来館者からも好評を得ていることから、高く評価できる。 ・福岡市の姉妹都市交流事業の一環として行った、アトランタ市でのジャパンフェスト出展においては、現地でのブース出展運営や体験の補助を行った。博多織、博多人形制作体験については、127人もの方に参加いただき、販売も好評であったので、海外における伝統工芸品の認知度向上に寄与した点は高く評価できる。今後も伝統工芸品の海外事業を積極的に実施されることを期待したい。
	1 常設展示（展示品の更新や資料の収集等、来館者目線に立った改善が行われているか）	4	
	2 情報提供（販売店の紹介、観光案内業務など）	4	
	3 広報活動（館自体のPR、事業の告知など）	4	
	4 主催事業（伝統産業振興に効果的な企画を実現できているか）	5	
	5 企画展示スペースの貸出（手続の遵守、利用率、利用者と協力し魅力的な展示を実現しているか、等）	4	
	6 アウトリーチ活動、市との連携	5	
Ⅲ その他の業務（配点20点）		12	・来館者アンケートについては、利用者ニーズの把握やサービス向上に資する重要な取り組みであることから、引き続き回答数の確保に努められたい。
	1 来館者への接遇（苦情、事故等への対応含む）、アンケートの実施	3	
	2 事業計画・事業報告に関すること	3	
	3 定期報告	3	
	4 改善指導への対応	3	
◆ 基本的考え方や方針（配点25点）		17	・「はかた伝統工芸館感謝祭2025」では、博多旧市街フェスティバルと連携し、博多千年門前広場で体験を実施することで、博多旧市街エリアの魅力創出につながるとともに、来館者が工芸品に実際に触れ、その魅力を身近に感じることが出来る取組となっており、高く評価できる。博多旧市街エリアの恒例行事として定着するよう、継続的な実施を期待したい。 ・企画展示が行われていない期間においては、博多区周辺の観光スポットや関連イベントなどを紹介し、地域の魅力創出に尽力していた点は評価できる。 ・博多部への移転の影響により、来館者数が前年度比の34%にとどまった。博多旧市街エリアの玄関口に位置する立地を活かし、周辺関連施設や福岡市と連携を図りながら、現在地の周知及び施設のPRに積極的に取り組み、来館者数の増加につなげられたい。 ・来館者の減少に対して、販売売上額は前年度と同等を維持しており、伝統工芸への関心や購買意欲の高い来館者の獲得につながっているものと高く評価できる。 ・令和8年3月17日に財務モニタリングを実施した結果、問題はなかった。 ・指定管理者と連携し、ラジオ放送の活用など、その特性を活かしたPRができたと評価できる。
	1 はかた伝統工芸館の新たな魅力の創出	4	
	2 来館者目標の達成	3	
	3 収支の実績、経費の縮減	3	
	4 地域との連携	4	
	5 指定管理者の特性の発揮	3	
◆ その他工夫をし、成果をあげた取組【自主事業含む】（配点5点）		4	・令和7年度から常設体験コーナーを設置し、令和7年度は128人の利用があり、伝統工芸をより身近に感じてもらう機会を提供できている。今後も、はかた伝統工芸館における魅力的な観光コンテンツとしてさらなる充実を図られたい。 ・アビスパ福岡とのコラボを通じて、工芸品の購買層ではない層にも知ってもらうための取り組みを積極的に行っている点は、高く評価できる。
総合評価（100点満点）		73	
4 市による総合評価 A：90点以上 B：80～89点 C：60～79点 D：55～59点 E：54点以下			
C	【評価できる点】 ・伝統工芸品振興に関する業務について、特色のある主催事業やアウトリーチ活動等が高く評価される。		
	【課題、改善が必要な点】 ・来館者数が大きく減少しているため、現在地の周知及び施設のPRについて積極的かつ効果的な広報を期待したい。		
73			